



第31回 長崎大学病院 ICLSコース 報告書



「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」

令和3年10月9日(土)開催

主催：長崎シミュレーション教育研究会
共催：長崎大学病院 長崎外来医療教育室
地域医療支援センター
シミュレーションセンター
救命救急センター

第 31 回 I C L S コー ス

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

身につける行動の目標は以下の通りです。

- ・蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- ・BLS(一次救命処置)に習熟する
- ・AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- ・心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- ・除細動の適応を判断できる
- ・電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
- ・状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- ・気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- ・状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- ・治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生11名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

今回の受講生は、11名全員初期研修医であった。

スタッフ(コースディレクター1名、サブディレクター1名、インストラクター6名、アシスタントインストラクター1名)計9名で、指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.6

各ブースにおける感染予防対策

1. BLSブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
 - ・手技の前後に都度行う
- 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング
 - ・セッション開始前(インスト全員で実施)
 - ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)
- 3) 備品消毒箇所
 - (1) マネキン
 - ・胸部
 - ・頸部
 - ・顔面
 - (2) BVM
 - (3) AED
- 4) その他
 - ・受講者2人につき、マネキン1体とする
 - ・呼気吹き込みを行う人工呼吸の練習は割愛する



2. 気道管理ブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
 - ・手技の前後に都度行う
- 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング
 - ・セッション開始前(インスト全員で実施)
 - ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)
- 3) 備品消毒箇所
 - ・気道管理マネキンの顔面
 - ・経鼻カニューラ、酸素マスク、リザーバーマスク
 - ・エアウェイ
 - ・喉頭鏡
 - ・気管チューブ
 - ・スタイレット
 - ・赤シリンジ
 - ・カフ圧計
- 4) その他
 - ・窒息解除・声門上デバイスに関しては、全体に対して紹介説明のみ行う。



3. モニターブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
 - ・シナリオ開始時
 - ・シナリオ終了時、着座前

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施

3) 備品消毒箇所

(1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

(2) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ



4. シナリオブース

1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施



3) 備品消毒箇所

(1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

(2) BVM

(3) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ

(4) 輸液・薬剤

(5) 記録

- ・ホワイトボード
- ・ストップウォッチ
- ・マーカー
- ・イレーサー



タイムテーブル

〈実施内容〉

開催日時	令和3年10月9日（土） 9：20～17：00
受講者数	11名
対象	初期研修医
場所	長崎大学病院 シミュレーションセンター

〈スケジュール〉

			グループ(A)	グループ(B)
09:00～09:20	20分	受付	シミュレーションセンター入口	
09:20～09:30	10分	オリエンテーション	多目的研修室	
09:30～10:10	40分	BLS+AED	シミュレーション室1	多目的室（手前）
10:10～10:20	10分	休憩・移動		
10:20～11:10	50分	気道管理/モニター	気道管理 シミュレーション室1	多目的室（手前）
11:10～11:20	10分	休憩・移動		
11:20～12:10	50分	気道管理/モニター	多目的室（手前）	気道管理 シミュレーション室1
12:10～13:00	50分	昼食		
13:00～13:10	10分	デモンストレーション+移動	BLS・ALSデモンストレーション 多目的室（奥）	
13:10～14:20	70分	チーム蘇生 VF/VT	シミュレーション室1	多目的室（手前）
14:20～14:30	10分	休憩・移動		
14:30～15:20	50分	non VF/VT	多目的室（手前）	シミュレーション室1
15:20～15:30	10分	休憩・移動		
15:30～16:40	70分	メガコード	多目的室（手前）	シミュレーション室1
16:40～16:50	10分	移動		
16:50～17:00	10分	終了式・修了証授与式	終了式・修了証授与式 多目的研修室	

午前：気道管理

インストラクター：★石本 中岡 百木
アシスタント：

午前：モニター

インストラクター：★北山 徳満 田中
アシスタント：松坂

午後

シミュ1

★石本 中岡 百木

シミュ2

★北山 徳満 田中 松坂

★ブースリーダー



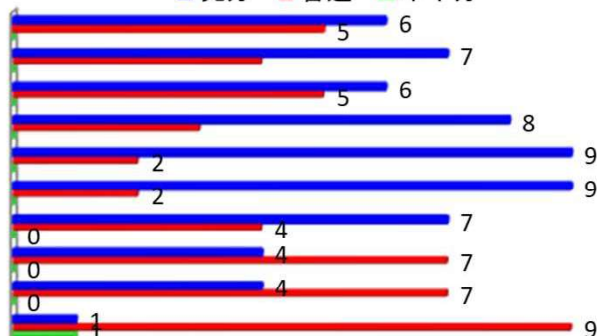
◆アンケート◆ 受講生の声

1)到達項目について、到達できたと思いますか

自己評価

突然の心停止に対し最初の10分間適切なチーム蘇生を習得する
蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
BLS(一次救命処置)に習熟する
AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
心停止の4つの心電図波形を判断できる
除細動の適応を判断できる
除細動を安全かつ確実に行うことができる
状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
気道が確実に確保できているかどうかを判断でき
治療可能な心停止の原因を検索できる

■ 充分 ■ 普通 ■ 不十分



2)講習会を受けるまでの自分を振り返ってみて、講習会を受けた後の自分はどうか変わりましたか？

- ・ 声を出せるようになった(2名)
- ・ 忘れかけていた知識を思い出して、チームで協力する大切さがわかりました。
- ・ 院内ハリーコールに積極的に参加しようと思えるようになった。
- ・ 変わった。
- ・ 手順を覚えたので自信になる。
- ・ 自分が出来ないことを理解できた点でとても勉強になりました。
- ・ やったこと、やるべきことを声に出して確認することの大事さを認識した。
- ・ 初期対応のアルゴリズムを実践できるようになった。役割ごとの仕事を全うする一歩目の準備が出来た。
- ・ 蘇生が必要な状況に出会っても何をすべきかを判断できるようになって、実践できるようになった
- ・ 初期対応から10分間での必要事項を習得することができた。
- ・ 流れが体に身につき、知識も深まりました。

3)カリキュラムについて、お尋ねします

講習時間

指導内容(量)

講習内容に対しての
時間設定

適当
100%

適当
100%

適当
100%

その他の意見:とても実り多い講習でした。

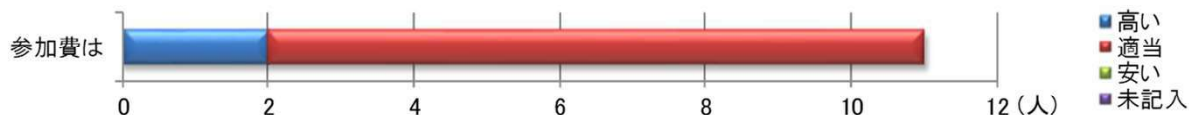
4)インストラクターに一言

- ・ 今日はありがとうございました。(5名)
- ・ 勉強になりました！ありがとうございました！
- ・ お世話になりました。とても勉強になりました。
- ・ 的確なご指導ありがとうございました。
- ・ 丁寧な御指導ありがとうございました！
- ・ 丁寧に教えてくださってありがとうございました。理解しやすかったです。
- ・ 適宜フィードバックしていただけて何ができて、何ができていないか確認することができた

5)設備(会場、資材、機材)、環境(温度、湿度、照明、雑音)について気になったこと

- ・ 最初は暑かったです。後半はちょうどよかったです。
- ・ 扇風機が直接当たると寒かった
- ・ 特になし(8名)

6)参加費は・・・



7)その他、要望、改善点、気づいたことなどがありましたらお書きください

。なし

8)今後、他の医療関係者にも、新しい蘇生法を広めるため、この会のスタッフに参加したいですか

インストラクター希望 1名

。梅村ゆりあ



◆アンケート◆ スタッフの声

【受講生について】

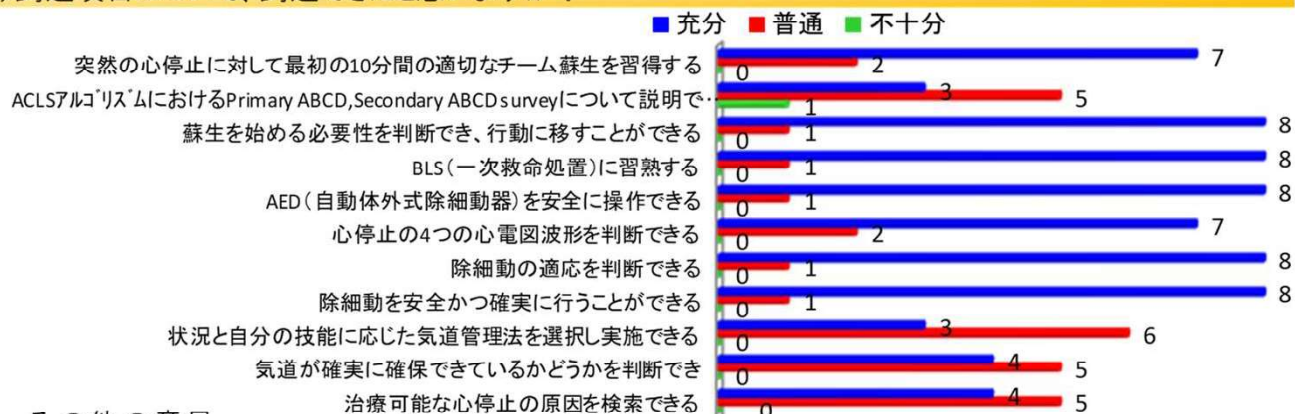
1)受講者の態度・意欲はどうだったか？

- 。良かった (3名)
- 。十分にあり
- 。素直でよかったです
- 。学習意欲があり積極的に参加していた
- 。みなさん積極的でした
- 。意欲的に取り組んでいました。
- 。全体に活気がありました。

2)予備知識(予習含む)はどうだったか？

- 。予習をしっかりしているとは感じなかったが、受講そのものに問題はなかった。
- 。十分にあり
- 。かなり勉強したあると思った (3名)
- 。忘れてることが多いようでした。
- 。テキストを読み込んでたかはわからない。
- 。割りとよく知っていたと思います。
- 。基本的事項はきちんとおさえていました。

3)到達項目について、到達できたと思いますか？



ーその他の意見ー

- 。臨床経験の差が出ていた。

【インストラクターについて】

4)自身はどうでしたか？

- 。前回よりはよく指導できたと思う
- 。お役に立てたなと思います。
- 。事前のイメージトレーニングが不十分と感じました。
- 。事前の準備はできていたと思います。実際に教えるとうまくいかない部分もありました。
- 。検査の種類や検査結果の値等、まだまだ知識不足な点があると感じました。
- 。午後の時間管理が難しかったです。

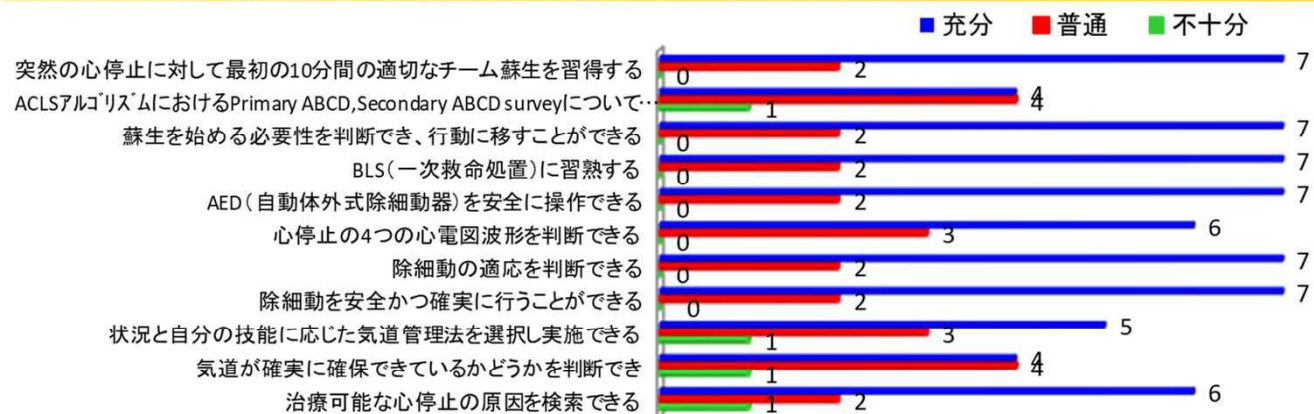
5)同僚のインストラクターはどうでしたか？

- 情熱があって、とても良かった。その分、時間配分に問題があった。
- シナリオの進め方など大変勉強になった。
- 限られた時間で最大限のことを実践できたかと思います
- 慣れた感じで余裕があってすごいと思いました。
- みなさん知識経験豊富でで助けていただきました。
- とてもわかりやすい指導をされていました。
- 受講生のやる気をうまく引き出していました。

6)アシスタント、チューターはどうでしたか？

- 初めてのアシスタントと思えないくらいのスキルだった。
- よかった
- よく声を出せておりシナリオの進め方も良かったと思う
- しっかり支えていただきました。
- 一緒に指導ができてよかったです
- いつも、準備等して頂き、円滑にコースができていますと感じています。
- 分かりやすく説明していて勉強になりました。

7)到達項目を十分教えることが出来ましたか？



8)講習会全体について

1. 講習時間について 全員適度
2. 指導内容(量)について 全員適度
3. その他意見
 - 特に学んで欲しい点を強調し、その他をあえて端折る決断も必要かと思います。
 - いつも、ありがとうございます。
 - Rescue Anneの接続が悪いことがありました。脈無VTで脈が出ることがありました。

9)運営者について

1. 当日の運営はどうでしたか？
 - 良い(7名)
 - お弁当おいしかったです
 - 各部屋を定期的に見てくれたので細かい物品のトラブルなどにすぐに対応できました。
2. 当日までの準備はどうでしたか？
 - よかった(3名)
 - 今回は場所がいつもと変わっていながら、準備はよくされていました。
 - しっかり準備できていたと思います
 - シナリオを事前に送ってもらえるとありがたいです。
 - 前日に物品をそろえておいてくれたので当日の準備が短時間で済みました。

10)今後のこの会についてひとこと

- 対面の講習会を今回も開催できた事に感謝です。今後も継続していけるよう、皆様のご協力をよろしくお願いします。
- またよろしくお願いします(2名)
- 引き続き参加させていただきたいと思います。がんばります。
- 盛り上げていきましょう！
- 今後もよろしくお願い致します。



フォト

ギャラリー

